受診票を使用する前に確認すること

20210901

1　事前に…

まず、自宅での毎日の生活の中で、仕上げ磨きや歯みがきの練習などをしておきましょう。

2　予約連絡　（受診票に記載されている有効期限内に受診できるように計画は早めに）

受診日の1か月前を目安として、委託機関（歯科医院）に予約連絡をして下さい。

［ 予約連絡する際に伝えること ］

・受診票を使用して「幼児歯科健康診査及びフッ化物歯面塗布」を受ける事。

・お子様の様子について

（歯科医院受診が初めてであるか、歯みがきや１歳６か月児健診の歯科健診を受診した様子など。）

・予約の時間は、空腹時や満腹時、眠い時間をなるべく避けましょう。

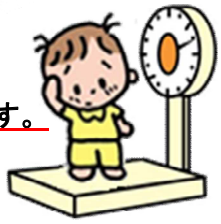
また、フッ化物歯面塗布の後は、30 分程度はうがいや飲食ができませんのでご注意下さい。

3　歯科医院に行く前の準備

・使用する受診票の左側の太枠内のみを 3 枚複写のため強めに記入します。

（記入した受診票は、受診当日に 3 枚一緒に歯科医院へ提出します。）

4　歯科医院受診当日（自宅で歯科医院に行く全ての方の体温を測りましょう）



・お子様の体調確認…具合が悪い場合は無理をせずに歯科医院に連絡をして下さい。

・**持ち物確認…①受診票　・　②母子手帳　・　③歯ブラシ**

※ 受診票を忘れると、無料で受けることができなくなってしまいます。

・体重が１０kg未満の場合や、“歯科健康診査のみ実施”を希望される場合は、

あらかじめ歯科医師にご相談下さい。

・歯みがきや説明、質問などはフッ化物歯面塗布の前に相談して下さい。

・お子様の様子により安全性の確保が難しい場合など、歯科医師の判断により

フッ化物歯面塗布を実施できない場合があります。

※ フッ化物歯面塗布が実施できない場合でも、受診票は使用されます。

・終了後には、母子手帳に 受診票の【母子手帳貼付用】が添付されて返却されます。

《 むし歯のできかた 》

1　口の中にいるむし歯の原因菌が、食物や飲料に含まれる糖分を栄養にして、

ベタベタな物質をつくり歯に強固に付着し増殖して歯垢（プラーク）をつくります。

2　歯垢の中のむし歯原因菌は、糖分から酸をつくり、歯垢が付着している歯の表面（エナメル質）は

酸によってカルシウムなどのミネラル分が溶けだします。（脱灰：初期むし歯）

3　脱灰の状態が続くと、もろくなったエナメル質がくずれて穴があきます。（むし歯）

《 再石灰化とは 》

まだ穴があいていない脱灰（初期むし歯）の状態で、原因となる糖分や歯垢を取り除き、酸の産生がおさえられると、唾液の中のミネラル分が歯に戻り修復しようとします。（再石灰化）

《 むし歯予防 》

口の中に糖分が残るほど修復機能の再石灰化が間に合わずにむし歯になるので、

お菓子だけでなく、飲み物に含まれる糖分にも注意が必要です。

また、毎日の規則正しい生活習慣と仕上げ磨きを習慣化、かかりつけ歯科医

での健診やフッ化物歯面塗布などでむし歯予防効果を高めましょう。

【 問合せ 】鴨川市　子ども支援課　子ども家庭センター　℡０４－７０９３－７１５１